

講 義 概 要
Syllabus

令和6年度
(2024年度)

国際科
2年次

熊本外語専門学校

科目名	英会話	国際科	2年通年
講師	Garry Irwin	講義	水曜2限
実務経験のある教員等による指導		2単位 36時間	全31回
科目概要	Class description: This class will focus on English speaking and listening ability. Students will be given the opportunity to practice intermediate English conversation and listening in a variety of everyday situations.		
到達目標	Student learning goals: To improve their conversational speaking and listening ability, learn key grammar often used in conversation and to improve pronunciation.		
授業計画			
1	Self Introduction		
2	Smart Choice book - classroom vocab		
3	Vocab - countries, grammar - be verb		
4	Describing jobs, simple present tense		
5	what I do and where I live conversation		
6	food, ordering food and talking about problems		
7	talking about past events		
8	Unit 1-3 review		
9	vocab sports, adverbs		
10	pronunciation. Compound nouns		
11	describing vacation activities		
12	vocab daily activities		
13	talk about future plans, grammar - be going to		
14	Unit 4-6 review		
15	課題：Homework tbc		
16	課題：		
17	Vocab - clothes, grammar - be verb		
18	Describing family and friends, be like- look like		
19	appearance and personalities conversation		
20	local attractions vocab, grammar can and cant		
21	describing vacation activities		
22	Unit 7-9 review		
23	Asking for directions, grammar - adjectives		
24	vocab vacation activities, there is, there are		
25	Vocab transport, past tense		
26	課題：Homework tbc		
27	課題：		
28	課題：		
29	grammar - future plans		
30	unit 10-12 review		
31	Exam prep		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	smart choice level1		

科目名	基礎英語	国際科	2年通年
講師	松本 真夕	講義	火曜2限
実務経験のある教員等による指導		2単位 36時間	全31回
科目概要	英検4級文法を理解したうえで、3級文法を理解し、問題を解くことができ、会話力もつける。		
到達目標	英検3級の語彙力と文法を使い会話ができるようになる。		
授業計画			
1	3級の重要名詞		
2	3級の重要動詞		
3	基本動詞のよく出るフレーズ		
4	動詞熟語		
5	形容詞の熟語		
6	重要形容詞		
7	重要副詞		
8	接続詞や前置詞		
9	よく出る熟語		
10	比較		
11	不定詞と動名詞		
12	to使った文型		
13	語順に注意する文		
14	過去分詞		
15	復習		
16	試験FB		
17	課題：前期復習		
18	課題：前期復習		
19	受け身		
20	現在完了		
21	うしろから修飾する文型		
22	文の中の疑問文		
23	誘う表現		
24	頼む表現		
25	道案内の会話		
26	買い物や注文の表現		
27	課題：後期復習		
28	課題：後期復習		
29	後期復習		
30	試験FB		
31	今までの復習		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	英検3級をひとつひとつわかりやすく		

科目名	ビジネスマナー応用	国際科	2年通年
講師	鎌農 美智子	講義	木曜2限
実務経験のある教員等による指導		4単位 64時間	全32回
科目概要	1年次に身につけた知識を活かし、社会人になるという意識をさらに強いものにし、話し方、来客対応など実践的に練習を行う。		
到達目標	就職活動時、就職後も職場で人間関係を円滑にするマナーを習得する。		
授業計画			
1	第1章 ビジネスコミュニケーション 1. 研修があると言われてきましたが…（日本人と働く心がまえ）		
2	仕事の基本（いかに気持ちよく円滑にすすめられるか）		
3	報・連・相のケーススタディ		
4	服装チェック、お茶出し、会社訪問時の受付～着席～面接		
5	仕事の指示を受けるときの基本、始業前の心得		
6	業務を「見える化」と段取り能力		
7	仕事を依頼する時の基本		
8	食事のマナーについて		
9	就職活動の面接時のマナー		
10	場面ごとのロールプレイ		
11	場面ごとのロールプレイ		
12	ビジネスマナー応用（インターンシップ前の練習）		
13	テスト前復習		
14	テストFB、ビジネスマナー応用（インターンシップ前練習）		
15	課題：ビジネスマナー応用で学んだことの復習①		
16	課題：ビジネスマナー応用で学んだことの復習①		
17	ビジネスマナー応用（電話対応ロールプレイ）		
18	ビジネスマナー応用（電話対応ロールプレイ）		
19	ビジネスマナー応用（電話対応ケーススタディ）		
20	ビジネスマナー応用（電話対応ケーススタディ）		
21	ビジネスマナー応用（ビジネス文書）		
22	ビジネスマナー応用（ビジネス文書）		
23	ビジネスマナー応用（ビジネス文書）		
24	ビジネスマナー応用（職場での話し方）		
25	ビジネスマナー応用（職場での話し方）		
26	課題：ビジネスマナー応用で学んだことの復習②		
27	課題：ビジネスマナー応用で学んだことの復習②		
28	課題：ビジネスマナー応用で学んだことの復習②		
29	テスト前復習		
30	テストFB、実践演習		
31	テストFB、実践演習		
32	ビジネスマナー応用（一番大切なこと）		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	改訂版 留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール（日本能率協会マネジメントセンター）		

科目名	異文化理解	国際科	2年通年
講師	淵上 詩帆	講義	金曜3限
実務経験のある教員等による指導		2単位 36時間	全31回
科目概要	世界の様々な文化や習慣についての理解を深め、異なる文化の人との接し方を学ぶ。		
到達目標	文化の違いについて理解し、異なる文化の人と出会ったときに問題なくスムーズにコミュニケーションがとれるようになることを目標とする。		
授業計画			
1	文化とは何か		
2	文化の特徴		
3	文化の文化的・個人的・普遍的側面		
4	自文化中心主義と文化相対主義		
5	寛容性		
6	ステレオタイプ		
7	異文化受容のプロセス		
8	カルチャーショック		
9	違いに気づく		
10	DIEメソッド		
11	ケーススタディ①		
12	ケーススタディ②		
13	復習		
14	前期定期試験FB		
15	インターンシップ (課題)		
16	インターンシップ (課題)		
17	非言語コミュニケーション		
18	自分を知ろう①		
19	自分を知ろう②		
20	ケーススタディ③		
21	差別		
22	マイノリティとマジョリティ		
23	ユニバーサルデザイン		
24	インターンシップ (課題)		
25	インターンシップ (課題)		
26	インターンシップ (課題)		
27	復習		
28	後期定期試験FB		
29	世界の価値観		
30	ケーススタディ④		
31	まとめ		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	—		

科目名	総合教養講座	国際科	2年前期
講師	欽農 美智子	講義	月曜5限
実務経験のある教員等による指導		4単位 64時間	全14回
科目概要	今まで学んだ様々な分野の知識や経験を職場でよくあるケーススタディで検証していき、職場での自分の考え方、姿勢などを学ぶ。		
到達目標	実際就職してみてもつかる問題を自分のこととしてとらえ、自分ならどうするか、どうすればいいのかを考え、今の自分に足りないことに気づき、就職に備える。		
授業計画			
1	春休みの宿題FB		
2	発声練習、IV 社会人基礎力 3. ケーススタディ①		
3	発声練習、IV 社会人基礎力 3. ケーススタディ①		
4	発声練習、IV 社会人基礎力 3. ケーススタディ②		
5	発声練習、IV 社会人基礎力 3. ケーススタディ②		
6	発声練習、ケーススタディ		
7	発声練習、ケーススタディ		
8	発声練習、ケーススタディ		
9	発声練習、ケーススタディ		
10	発声練習、ケーススタディ		
11	発声練習、ケーススタディ		
12	発声練習、ケーススタディ		
13	テスト前の総復習		
14	課題：総復習の問題		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力（図書刊行会）		

科目名	社会人基礎力育成	国際科	2年通年
講師	梅山 みどり	講義	水曜4限
実務経験のある教員等による指導		2単位 36時間	全32回
科目概要	社会人生活の多くの場面で求められる伝達手段「プレゼンテーション」の基礎的な知識や考え方を知り、日本語表現を学ぶ。		
到達目標	聞き手に自分が伝えたいことが正確に伝わるように、プレゼンテーションを行うことを目標とする。		
授業計画			
1	プレゼンテーションとは		
2	1 内容決定1 (テーマ、構成)		
3	2 資料収集		
4	3 発表原稿・スライド資料作成		
5	発表原稿・スライド資料作成		
6	発表原稿・スライド資料作成		
7	発表原稿・スライド資料作成		
8	発表原稿・スライド資料作成		
9	発表原稿・スライド資料作成		
10	発表原稿・スライド資料検討		
11	4 プレゼンテーション練習		
12	プレゼンテーション練習		
13	プレゼンテーション練習		
14	プレゼンテーション練習		
15	課題： (発表原稿作成)		
16	課題： (発表原稿作成)		
17	5 プレゼンテーション1		
18	6 プレゼンテーション1 振り返り		
19	7 内容決定2 (テーマ、構成)		
20	8 資料収集		
21	9 発表原稿・スライド資料作成		
22	発表原稿・スライド資料作成		
23	発表原稿・スライド資料作成		
24	発表原稿・スライド資料作成		
25	発表原稿・スライド資料作成		
26	課題： (発表原稿作成)		
27	課題： (発表原稿作成)		
28	課題： (発表原稿作成)		
29	10 プレゼンテーション練習		
30	11 プレゼンテーション練習		
31	12 プレゼンテーション2		
32	13 プレゼンテーション2 振り返り		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める</p>		
教科書名	留学生のための 考えを伝え合うプレゼンテーション		

科目名	PCスキル 応用	国際科	2年通年
講師	恒松 宏美	実習	水曜1限
実務経験のある教員等による指導	職業訓練校で社会人求職者を対象に主にWord、Excelの実技指導した経験を活かして、初心者から経験者まで受講者のレベルに合わせた指導と個別指導を徹底する。	4単位 64時間	全31回
科目概要	2年次では、1年次に習得した基本的なコンピューターの知識を用いて、さらに高度なことができるようになる。メールの書き方、WordやExcelを用いたビジネス文書の書き方、Powerpointが使えるようになる。働く際に役立つコンピューターの知識を身に付ける。		
到達目標	Windowsでは、基本操作ができるようになる。Excelでは、データ入力、表の作成、簡単なデータベース、グラフ作成ができるようになる。日本情報処理検定の表計算3級以上合格を目指します。		
授業計画			
1	Chapter5 Step1Excelの概要(P102～)、Step2Excelを起動する、Step3Excelの画面構成		
2	Chapter6 Step1作成するブックを確認する(P115～)、Step2新しいブックを作成する		
3	Step3データを入力する、Step4オートフィルを利用する☑		
4	Chapter7 Step1作成するブックを確認する(P131～)、Step2関数を入力する		
5	Step3セルを参照する、Step4 表の書式を設定する		
6	Step5表の行や列を操作する		
7	Step6表を印刷する		
8	Exrecise練習問題(P155)		
9	Chapter8 Step1作成するグラフを確認する(P157～)、Step2グラフ機能の概要、Step3円グラフを作成する		
10	Step4 縦棒グラフを作成する		
11	Exercise練習問題(P181)		
12	総合問題4(P301～)		
13	総合問題5(P303～)		
14	課題：見積書作成		
15	課題：領収書作成		
16	Chapter9 Step1データベース機能の概要(P183～)、Step2表をテーブルに変換する		
17	Step3データを並べ替える、Step4データを抽出する		
18	Step5条件付き書式を設定する		
19	Exercise練習問題(P201)		
20	Exercise総合問題6(P305～)		
21	Chapter3 Step1 作成する文書を確認するP56～、Step2 ワードアートを挿入する		
22	Step3 画像を挿入する		
23	Step3 文字の効果を設定する、Step5 ページ罫線を設定する		
24	Exercise練習問題P76～		
25	課題：ビジネス文書(1)		
26	課題：ビジネス文書(2)		
27	課題：ビジネス文書(3)		
28	さまざまなメール文例		
29	さまざまなメール文例		
30	さまざまなメール文例		
31	まとめ		
成績評価方法	前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。 成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。 成績：100%（60%以上合格） ※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下 出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める		
教科書名	『よくわかる Microsoft Word 2016 & Microsoft Excel 2016 & Microsoft PowerPoint 2016 <改訂版>』（FOM出版）		

科目名	実践コミュニケーション		国際科	2年通年
講師	上野 綾子		講義	月曜4限
実務経験のある教員等による指導			4単位 64時間	全28回
科目概要	人とどのように接するべきか、人との距離の取り方などを学び、上手くコミュニケーションができるようになることを目標とする。			
到達目標	フィールドワークやインタビューなどを通じて上手くコミュニケーションができるようになる。			
授業計画				
1	CM制作の説明 CM制作のためのインタビュー準備			
2	CM制作のためのインタビュー準備			
3	CM制作のためのインタビュー実施			
4	CMの方向性の決定 動画の作り方			
5	CM制作	学校VTR制作	構成を考える①	
6	CM制作	学校VTR制作	構成を考える②	
7	CM制作	学校VTR制作	インタビュー準備	素材集め
8	CM制作	学校VTR制作	インタビュー準備	素材集め
9	CM制作	学校VTR制作	インタビュー実施	
10	CM制作	学校VTR制作	インタビューまとめ	
11	CM制作	学校VTR制作	素材集め	
12	CM制作 発表リハーサル	学校VTR制作	素材集め	
13	前期定期試験FB CM制作発表			
14	課題：学校VTR制作 編集			
15	学校VTR中間発表→FB 今後の課題			
16	学校VTR制作	インタビュー準備	素材集め	編集
17	学校VTR制作	インタビュー準備	素材集め	編集
18	学校VTR制作	インタビュー実施		
19	学校VTR制作	インタビューまとめ		
20	学校VTR制作	素材集め	編集	
21	学校VTR制作	素材集め	編集	
22	学校VTR制作	素材集め	編集	
23	課題：学校VTR制作 編集			
24	課題：学校VTR制作 編集			
25	学校VTR制作 最終確認			
26	後期定期試験FB 発表			
27	1年の振り返り①			
28	1年の振り返り②			
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>			
教科書名	—			

科目名	総合日本語	国際科	2年通年
講師	木村 範子	講義	火曜4限
実務経験のある教員等による指導		8単位 144時間	全31回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。（火曜4限では、多様な話題を読み、文法知識や語彙の力を鍛え、文意を正しく理解する力を高める。）		
授業計画			
1	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題14①		
2	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題14②		
3	日本語読解 中級 6課		
4	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題15①		
5	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題15②		
6	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題16①		
7	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題16②		
8	日本語読解 中級 8課		
9	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題17①		
10	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題17②		
11	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題18①		
12	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題18②		
13	日本語読解 中級 9課		
14	復習		
15	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題19①		
16	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題19②		
17	課題：必ずできるJLPT「読解」N2 ウォーミングアップ9		
18	課題：必ずできるJLPT「読解」N2 ウォーミングアップ10		
19	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題20①		
20	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題20②		
21	日本語読解 中級 10課		
22	必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題21		
23	必ずできるJLPT「読解」N2 読解模擬問題		
24	必ずできるJLPT「読解」N2 読解模擬問題		
25	課題：必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題22①		
26	課題：必ずできるJLPT「読解」N2 練習問題22②		
27	復習		
28	日本語読解 中級 11課		
29	復習		
30	復習		
31	まとめ		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々的小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	「必ずできるJLPT「読解」N2」「話す聞くにつながる！日本語読解」		

科目名	総合日本語	国際科	2年通年
講師	木村 範子	講義	水曜3限
実務経験のある教員等による指導		8単位 144時間	全32回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。（水曜3限では、日本語を聞き取り、正しい発音、語彙や表現法などを習得し、音声情報を理解する力を高める。）		
授業計画			
1	毎日の聞き取り50日（下）40課・41課		
2	毎日の聞き取り50日（下）42課・43課		
3	毎日の聞き取り50日（下）44課・45課		
4	毎日の聞き取り50日（下）46課・47課		
5	毎日の聞き取り50日（下）48課・49課		
6	毎日の聞き取り50日（下）50課		
7	ニュースの日本語 聴解 1課・2課		
8	ニュースの日本語 聴解 3課・4課		
9	ニュースの日本語 聴解 5課・6課		
10	ニュースの日本語 聴解 7課・8課		
11	ニュースの日本語 聴解 9課・10課		
12	ニュースの日本語 聴解 11課・12課		
13	復習		
14	復習		
15	課題：ニュースの日本語 聴解 35課 スクリプト		
16	課題：ニュースの日本語 聴解 36課 スクリプト		
17	ニュースの日本語 聴解 13課・14課		
18	ニュースの日本語 聴解 15課・16課		
19	ニュースの日本語 聴解 17課・18課		
20	ニュースの日本語 聴解 19課・20課		
21	ニュースの日本語 聴解 21課・22課		
22	ニュースの日本語 聴解 23課・24課		
23	ニュースの日本語 聴解 25課・26課		
24	ニュースの日本語 聴解 27課・28課		
25	ニュースの日本語 聴解 30課・31課		
26	課題：ニュースの日本語 聴解 37課 スクリプト		
27	課題：ニュースの日本語 聴解 38課 スクリプト		
28	課題：ニュースの日本語 聴解 39課 スクリプト		
29	復習		
30	復習		
31	復習		
32	まとめ		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める</p>		
教科書名	「毎日の聞き取り50日（下）」「ニュースの日本語 聴解 40」		

科目名	総合日本語	国際科	2年通年
講師	松本 真夕	講義	水曜5限
実務経験のある教員等による指導		8単位 144時間	全32回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。		
授業計画			
1	Chapter4 Section 1		
2	Chapter4 Section 2		
3	Chapter4 Section 3		
4	Chapter4 Section 4		
5	Chapter4 Section 5		
6	Chapter5 Section 1		
7	Chapter5 Section 2		
8	Chapter5 Section 3		
9	Chapter5 Section 4		
10	Chapter5 Section 5		
11	Chapter6 Section 1		
12	Chapter6 Section 2		
13	Chapter6 Section 3		
14	Chapter4~6 まとめ		
15	課題：今後勉強予定の語彙の文作		
16	課題：今後勉強予定の語彙の文作		
17	Chapter6 Section 4		
18	Chapter6 Section 5		
19	Chapter7 Section 1		
20	Chapter7 Section 2		
21	Chapter7 Section 3		
22	Chapter7 Section 4		
23	Chapter7 Section 5		
24	Chapter8 Section 1		
25	Chapter8 Section 2		
26	課題：試験範囲の勉強		
27	課題：試験範囲の勉強		
28	課題：試験範囲の勉強		
29	Chapter6~8 まとめ		
30	今までの復習		
31	今までの復習		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	はじめての日本語能力試験 N2単語2500		

科目名	総合日本語	国際科	2年通年
講師	上野 綾子	講義	木曜1限
実務経験のある教員等による指導		4単位 64時間	全32回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。		
授業計画			
1	『中級を学ぼう』10課-学習項目1～3		
2	10課-学習項目4～6		
3	文法テスト① 文法項目の復習		
4	文法テスト①FB		
5	文法テスト②		
6	文法テスト②FB		
7	『学ぼう！にほんご 中級』L21 重要な文型と表現 2, 3		
8	L21 重要な文型と表現 1, 4		
9	L22 重要な文型と表現 1, 4		
10	L22 重要な文型と表現 2, 3		
11	L23 重要な文型と表現		
12	『学ぼう！にほんご 中級』L21～23問題集FB		
13	復習		
14	前期定期試験FB		
15	課題：問題集解答		
16	課題：問題集解答		
17	『学ぼう！にほんご 中級』L26 重要な文型と表現 ※特に 3, 4		
18	L30 重要な文型と表現 1～4		
19	L31 重要な文型と表現 ※特に 3, 4		
20	L32 重要な文型と表現 ※特に 2, 3 L33 重要な文型と表現 ※特に 4		
21	L36 重要な文型と表現 ※「ものだ」を中心に		
22	L37 重要な文型と表現 1～4		
23	L39 重要な文型と表現 1～4		
24	L40 重要な文型と表現 1～4		
25	復習		
26	課題：問題集解答		
27	課題：問題集解答		
28	課題：文法項目を用いた文作練習		
29	問題集FB		
30	後期定期試験FB		
31	復習		
32	復習		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める</p>		
教科書名	<p>『中級を学ぼう 日本語の文型と表現82 中級中期』（株式会社スリーイーネットワーク）</p> <p>『学ぼう！にほんご中級』（専門教育出版）</p>		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	2年通年
講師	歙農 美智子	講義	月曜1限
実務経験のある教員等による指導		4単位 64時間	全28回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	例題と解き方、言葉を覚えよう		
2	第9週/1日目1, 2 第1週/1日目、第5週/1日目(1), (2)		
3	JLPT模試		
4	第10週/1日目 第2週/1日目、第6週/1日目(1), (2)		
5	第11週/1日目 第3週/1日目、第7週/1日目		
6	JLPT模試		
7	第12週/1日目1, 2 第4週/1日目、第8週/1日目		
8	第9週/1日目3, 4, 5、ポイント理解 第1週/2日目、第5週/1日目(3)~(5)		
9	JLPT模試		
10	JLPT直前…第10週/2日目 第2週/2日目、第6週/1日目(3) 2日目(1)		
11	第11週/2日目 第3週/2日目、第7週/2日目		
12	第12週/1日目 第4週/2日目、第8週/2日目		
13	テストFB		
14	課題：次回受験レベルのJLPT問題		
15	後期開始：JLPT模試		
16	JLPT模試		
17	第9週/2日目 第1週/3日目 第5週/2日目(1)(2)		
18	第10週/2日目 第2週/3日目、第6週/2日目(2)(3)		
19	JLPT模試		
20	JLPT直前…第11週/3日目 第3週/3日目、第7週/3日目		
21	第9週/3日目 第1週/4日目、第8週/3日目		
22	第10週/3日目 第2週/4日目、第5週/4日目		
23	課題：次回受験レベルのJLPT問題		
24	課題：次回受験レベルのJLPT問題		
25	第11週/3日目 第3週/4日目、第6週/4日目		
26	第9週/4日目 第4週/4日目、第7週/4日目		
27	第10週/4日目 第1週/4日目、第8週/4日目		
28	第11週/4日目 第2週/4日目、第9週/4日目		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動(取り組み、宿題などの提出物)を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100% (60%以上合格)</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	ベスト総合問題集N2		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	2年通年
講師	永村 洋藤	講義	月曜2限
実務経験のある教員等による指導		12単位 216時間	全28回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	月曜2	とりあえず日本語能力試験対策 文法N2 第1回	
2	月曜2	とりあえず日本語能力試験対策 文法N2 第1回	
3		JLPT模試	
4	月曜2	とりあえず日本語能力試験対策 文法N2 第2回	
5	月曜2	とりあえず日本語能力試験対策 文法N2 第2回	
6		JLPT模試	
7	月曜2	JLPT模試FB	
8	月曜2	とりあえず日本語能力試験対策 文法N2 第3回	
9		JLPT模試	
10	月曜2	JLPT模試FB	
11	月曜2	とりあえず日本語能力試験対策 文法N2 第4回	
12		課題+FB	
13	月曜2	とりあえず日本語能力試験対策 文法N2 第5回	
14	月曜2	とりあえず日本語能力試験対策 文法2 第5回	
15	月曜2	とりあえず日本語能力試験対策 文法2 第6回	
16	月曜2	とりあえず日本語能力試験対策 文法N2 第7回	
17	月曜2	定期試験FB	
18	月曜2	JLPT模試	
19	月曜2	JLPT模試	
20	月曜2	JLPT模試FB	
21	月曜2	JLPT模試FB	
22	月曜2	JLPT模試	
23	月曜2	JLPT模試FB	
24	月曜2	とりあえず日本語能力試験対策 文法2 第8回	
25	月曜2	とりあえず日本語能力試験対策 文法2 第9回	
26		課題+FB	
27	月曜2	とりあえず日本語能力試験対策 文法N2 第10回	
28	月曜2	とりあえず日本語能力試験対策 文法N2 総論	
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	ドリル&ドリル N2文法		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	2年通年
講師	上野 綾子	講義	金曜1限
実務経験のある教員等による指導		4単位 64時間	全31回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	ドリル&ドリル：短文 9番、10番 新完全マスター：第1部1. の1) [対比] 練習2、3		
2	ドリル&ドリル：中文 7番 新完全マスター：第1部1. の2) [言い換え] 練習8、9		
3	日本語能力試験 模擬試験 第1回		
4	模擬試験FB		
5	ドリル&ドリル：中文 8番 新完全マスター：第1部1. の3) [比喩] 練習12		
6	日本語能力試験 模擬試験 第2回		
7	模擬試験FB		
8	統合理解の問題に慣れる 新完全マスター：第1部1. の4) [疑問提示文] 練習14～		
9	日本語能力試験 模擬試験 第3回		
10	模擬試験FB		
11	ドリル&ドリル：主張理解 5番 新完全マスター：第1部1. の5) [主張表現] 練習17～		
12	ドリル&ドリル：情報検索 4番 新完全マスター：第1部2. の1) 指示語を問う 練習23～		
13	復習		
14	定期試験FB		
15	課題：読解問題を解く		
16	課題：読解問題を解く		
17	日本語能力試験 模擬試験 後期 第1回		
18	模擬試験FB		
19	日本語能力試験 模擬試験 後期 第2回		
20	模擬試験FB		
21	新完全マスター：第1部2. の2)～5) 練習問題		
22	新完全マスター：第1部2. の2)～5) 練習問題		
23	日本語能力試験 模擬試験 後期 第3回		
24	模擬試験FB		
25	課題：読解問題を解く 新完全マスター：第3部 実践問題から		
26	課題：読解問題を解く 新完全マスター：第3部 実践問題から		
27	課題：読解問題を解く 新完全マスター：第3部 実践問題から		
28	新完全マスター：第3部 実践問題から		
29	後期定期試験FB		
30	復習		
31	復習		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	『ドリル&ドリル 日本語能力試験対策 N2 聴解・読解』（ユニコム） 『新完全マスター読解 日本語能力試験N2』（スリーエーネットワーク）		

科目名	日本語能力試験対策	国際科	2年通年
講師	松本 真夕	講義	金曜2限
実務経験のある教員等による指導		12単位 216時間	全31回
科目概要	日本語能力試験に関しては、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。N2、N1に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2、N1に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	文字語彙		
2	文字語彙		
3	文法		
4	文法		
5	聴解		
6	読解		
7	読解		
8	読解		
9	読解		
10	読解		
11	聴解		
12	聴解		
13	試験前復習		
14	文法		
15	課題：今まで間違えた箇所の復習		
16	課題：今まで間違えた箇所の復習		
17	試験FB		
18	模擬試験文字語彙		
19	模擬試験文法		
20	模擬試験読解		
21	模擬試験読解		
22	模擬試験読解		
23	模擬試験聴解		
24	模擬試験聴解		
25	課題：試験範囲の勉強		
26	課題：試験範囲の勉強		
27	課題：試験範囲の勉強		
28	文法		
29	試験FB		
30	これまでの復習		
31	これまでの復習		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	日本語能力試験対策これ一冊N2		

科目名	ビジネス日本語	国際科	2年通年
講師	上村 ひとみ	講義	木曜3限
実務経験のある教員等による指導		2単位 36時間	全32回
科目概要	1年次で学んだことを生かし、より実践的な練習を取り入れ、就活から入社後まで、ビジネスの現場で役に立つ日本語表現を学ぶ。		
到達目標	ロールプレイを通して敬語を正しく使えるようにする。実際にはたらく際に役立つ日本語の知識を習得する。		
授業計画			
1	『ビジネス日本語30時間』5課		
2	『ビジネス日本語30時間』5課		
3	『ビジネス日本語30時間』5課		
4	『ビジネス日本語30時間』5課		
5	『ビジネス日本語30時間』6課		
6	『ビジネス日本語30時間』6課		
7	『ビジネス日本語30時間』6課		
8	『ビジネス日本語30時間』6課		
9	『ビジネス日本語30時間』7課		
10	『ビジネス日本語30時間』7課		
11	『ビジネス日本語30時間』7課		
12	『ビジネス日本語30時間』7課		
13	『ビジネス日本語30時間』8課		
14	『ビジネス日本語30時間』8課		
15	『ビジネス日本語30時間』8課		
16	課題：8課練習問題		
17	課題：5～7課重要語句の例文作成		
18	前期試験FB		
19	『中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語』1課		
20	『中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語』1課		
21	『中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語』1課		
22	『中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語』2課		
23	『中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語』2課		
24	『中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語』2課		
25	課題：ケーススタディ1		
26	課題：ケーススタディ2		
27	課題：3課〈文章.表現〉		
28	『中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語』3課		
29	『中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語』3課		
30	後期試験FB		
31	『中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語』3課		
32	『中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語』3課		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	『ビジネス日本語30時間』（スリーエーネットワーク）『中級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語』（スリーエーネットワーク）		

科目名	日本事情	国際科	2年通年
講師	上村 ひとみ	講義	火曜1限
実務経験のある教員等による指導		2単位 36時間	全31回
科目概要	日本社会、日本人に対して理解を深め、日本人と関係を作る上で何が大切なのかを学ぶ		
到達目標	ビジネスの現場での基本的な知識を身につけ、適切なコミュニケーションが取れるようになる		
授業計画			
1	section 1		
2	section1		
3	section2		
4	section2		
5	section2		
6	section3		
7	section3		
8	section3		
9	section4		
10	section4		
11	section4		
12	section5		
13	section5		
14	section5		
15	section6		
16	課題：section1～2 ロールプレイ文作成		
17	課題：section 3～4 ロールプレイ文作成		
18	課題：section5ロールプレイ文作成		
19	前期試験FB		
20	section6		
21	section6		
22	section7		
23	section7		
24	section7		
25	section8		
26	section8		
27	課題：section6～7ロールプレイ文作成		
28	課題：section8ロールプレイ文作成		
29	後試験FB		
30	聴解練習問題総復習		
31	聴解練習問題総復習		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	『それ、知りたかった！カイヤの日本語』（日本漢字能力検定協会）		

科目名	日本語レベルアップ	国際科	2年通年
講師	上野 綾子	講義	金曜4限
実務経験のある教員等による指導		4単位 64時間	全31回
科目概要	「話す」「書く」などを中心に学ぶ。自ら発信する力を身に付けることで、日本語を「知っている」から「使える」に変え、日本語を運用できる力を習得する。ニュース、新聞記事等の「生教材」を用い、そこから自分の考えを述べる活動を行う。		
到達目標	日本語の運用能力の向上を目標とする。		
授業計画			
1	春休みの宿題FB	活動の説明	ベトナム紹介のVTR アテレコ①
2	春休みの宿題FB	ベトナム紹介のVTR	アテレコ②
3	春休みの宿題FB	ベトナム紹介のVTR	アテレコ③
4	春休みの宿題発表	ベトナム紹介のVTR	アテレコ④
5	ベトナム紹介のVTR	アテレコ⑤	
6	ベトナム紹介のVTR	アテレコ⑥	
7	発表の構成の検討	→	練習
8	発表		
9	FB		
10	発表「日本人が好むと思うベトナムのもの」の下調べ	日本人へのインタビュー準備	
11	発表「日本人が好むと思うベトナムのもの」の下調べ	日本人へのインタビュー準備	
12	インタビューの実施		
13	構成の検討		
14	前期定期試験FB		
15	課題：発表「日本人が好むと思うベトナムのもの」発表準備		
16	課題：発表「日本人が好むと思うベトナムのもの」発表準備		
17	発表「日本人が好むと思うベトナムのもの」の発表準備		
18	発表「日本人が好むと思うベトナムのもの」の発表準備		
19	発表の練習		
20	発表		
21	FB	テーマ「私が思う熊本の魅力」VTR作成	構成検討
22	テーマ「私が思う熊本の魅力」VTR作成	構成検討	
23	テーマ「私が思う熊本の魅力」VTR作成	作成	
24	テーマ「私が思う熊本の魅力」VTR作成	作成	
25	課題：テーマ「私が思う熊本の魅力」VTR作成	作成	
26	課題：テーマ「私が思う熊本の魅力」VTR作成	作成	
27	課題：テーマ「私が思う熊本の魅力」VTR作成	作成	
28	発表		
29	後期定期試験FB		
30	復習		
31	復習		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	—		

科目名	通訳講座	国際科	2年通年
講師	上野 綾子	講義	火曜3限
実務経験のある教員等による指導		4単位 64時間	全31回
科目概要	1年次で築いた土台の上に基本的な練習を続けながら、通訳者にとって大切なメモ取りの練習や言い換え練習などより高度な練習を行う。さらに、実際に逐次通訳から通訳の練習などを取り入れていく。		
到達目標	1年次で身に付けたスキルをもとに、実際に通訳ができるようになることを目標とする。		
授業計画			
1	第1部 聴解テスト セクション2 発言聴解問題 Q&Aの想像		
2	第1部 聴解テスト セクション2 発言聴解問題 Q&Aの想像		
3	第1部 聴解テスト セクション2 発言聴解問題 Q&Aの想像 復習		
4	第2部 聴読解テスト セクション1 状況把握問題 1番、2番 内容把握		
5	第2部 聴読解テスト セクション1 状況把握問題 3番、4番 内容把握		
6	第2部 聴読解テスト セクション1 状況把握問題 5番、6番 内容把握		
7	第2部 聴読解テスト セクション1 状況把握問題 7番、8番 内容把握		
8	第2部 聴読解テスト セクション1 状況把握問題 9番、10番 内容把握		
9	復習		
10	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 1番 内容把握		
11	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 2番 内容把握		
12	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 5番 内容把握		
13	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 6番 内容把握		
14	復習		
15	前期定期試験FB インターンシップでの注意点		
16	課題：ディクテーション等音声に関する課題		
17	課題：ディクテーション等音声に関する課題		
18	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 7番 内容把握		
19	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 8番 内容把握		
20	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 12番 内容把握		
21	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 13番 内容把握		
22	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 14番 内容把握		
23	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 16番 内容把握		
24	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 17番 内容把握		
25	インターンシップの準備		
26	復習		
27	課題：要約練習		
28	課題：要約練習		
29	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 25番 内容把握		
30	後期定期試験FB		
31	まとめ		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々的小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	『BJTビジネス日本語能力テスト 聴解・聴読解 実力養成問題集 第2版』（スリーエーネットワーク）		

科目名	通訳講座	国際科	2年通年
講師	上野 綾子	講義	火曜5限
実務経験のある教員等による指導		4単位 64時間	全30回
科目概要	1年次で築いた土台の上に基本的な練習を続けながら、通訳者にとって大切なメモ取りの練習や言い換え練習などより高度な練習を行う。さらに、実際に逐次通訳から通訳の練習などを取り入れていく。		
到達目標	1年次で身に付けたスキルをもとに、実際に通訳ができるようになることを目標とする。		
授業計画			
1	実戦練習（インターンシップ）		
2	実戦練習（インターンシップ）		
3	実戦練習（インターンシップ）		
4	実戦練習（インターンシップ）		
5	実戦練習（インターンシップ）		
6	実戦練習（インターンシップ）		
7	実戦練習（インターンシップ）		
8	実戦練習（インターンシップ）		
9	実戦練習（インターンシップ）		
10	実戦練習（インターンシップ）		
11	実戦練習（インターンシップ）		
12	実戦練習（インターンシップ）		
13	実戦練習（インターンシップ）		
14	実戦練習（インターンシップ）		
15	実戦練習（インターンシップ）		
16	実戦練習（インターンシップ）		
17	実戦練習（インターンシップ）		
18	実戦練習（インターンシップ）		
19	実戦練習（インターンシップ）		
20	実戦練習（インターンシップ）		
21	実戦練習（インターンシップ）		
22	実戦練習（インターンシップ）		
23	実戦練習（インターンシップ）		
24	実戦練習（インターンシップ）		
25	実戦練習（インターンシップ）		
26	実戦練習（インターンシップ）		
27	実戦練習（インターンシップ）		
28	実戦練習（インターンシップ）		
29	実戦練習（インターンシップ）		
30	実戦練習（インターンシップ）		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	—		

科目名	通訳講座	国際科	2年通年
講師	上野 綾子	講義	火曜6限
実務経験のある教員等による指導		4単位 64時間	全30回
科目概要	1年次で築いた土台の上に基本的な練習を続けながら、通訳者にとって大切なメモ取りの練習や言い換え練習などより高度な練習を行う。さらに、実際に逐次通訳から通訳の練習などを取り入れていく。		
到達目標	1年次で身に付けたスキルをもとに、実際に通訳ができるようになることを目標とする。		
授業計画			
1	実戦練習（インターンシップ）		
2	実戦練習（インターンシップ）		
3	実戦練習（インターンシップ）		
4	実戦練習（インターンシップ）		
5	実戦練習（インターンシップ）		
6	実戦練習（インターンシップ）		
7	実戦練習（インターンシップ）		
8	実戦練習（インターンシップ）		
9	実戦練習（インターンシップ）		
10	実戦練習（インターンシップ）		
11	実戦練習（インターンシップ）		
12	実戦練習（インターンシップ）		
13	実戦練習（インターンシップ）		
14	実戦練習（インターンシップ）		
15	実戦練習（インターンシップ）		
16	実戦練習（インターンシップ）		
17	実戦練習（インターンシップ）		
18	実戦練習（インターンシップ）		
19	実戦練習（インターンシップ）		
20	実戦練習（インターンシップ）		
21	実戦練習（インターンシップ）		
22	実戦練習（インターンシップ）		
23	実戦練習（インターンシップ）		
24	実戦練習（インターンシップ）		
25	実戦練習（インターンシップ）		
26	実戦練習（インターンシップ）		
27	実戦練習（インターンシップ）		
28	実戦練習（インターンシップ）		
29	実戦練習（インターンシップ）		
30	実戦練習（インターンシップ）		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	—		

科目名	通訳講座	国際科	2年通年
講師	Tran Ngoc Trinh	講義	木曜4限
実務経験のある教員等による指導		12単位 216時間	全32回
科目概要	1年次で築いた土台の上に基本的な練習を続けながら、通訳者にとって大切なメモ取りの練習や言い換え練習などより高度な練習を行う。さらに、実際に逐次通訳から通訳の練習などを取り入れていく。		
到達目標	1年次で身に付けたスキルをもとに、実際に通訳ができるようになることを目標とする。		
授業計画			
1	第1部 聴解テスト セクション2 発言聴解問題 Q&Aの想像	ベトナム語訳	
2	第1部 聴解テスト セクション2 発言聴解問題 Q&Aの想像	ベトナム語訳	
3	第1部 聴解テスト セクション2 発言聴解問題 Q&Aの想像	復習	
4	第2部 聴読解テスト セクション1 状況把握問題 1番、2番	内容把握	ベトナム語訳
5	第2部 聴読解テスト セクション1 状況把握問題 3番、4番	内容把握	ベトナム語訳
6	第2部 聴読解テスト セクション1 状況把握問題 5番、6番	内容把握	ベトナム語訳
7	第2部 聴読解テスト セクション1 状況把握問題 7番、8番	内容把握	ベトナム語訳
8	第2部 聴読解テスト セクション1 状況把握問題 9番、10番	内容把握	ベトナム語訳
9	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 1番	内容把握	ベトナム語訳
10	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 2番	内容把握	ベトナム語訳
11	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 5番	内容把握	ベトナム語訳
12	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 6番	内容把握	ベトナム語訳
13	復習		
14	前期定期試験FB インターンシップでの注意点		
15	課題：ディクテーション等音声に関する課題		
16	課題：ディクテーション等音声に関する課題		
17	復習		
18	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 7番	内容把握	ベトナム語訳
19	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 8番	内容把握	ベトナム語訳
20	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 12番	内容把握	ベトナム語訳
21	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 13番	内容把握	ベトナム語訳
22	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 14番	内容把握	ベトナム語訳
23	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 16番	内容把握	ベトナム語訳
24	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 17番	内容把握	ベトナム語訳
25	インターンシップの準備		
26	課題：要約練習		
27	課題：要約練習		
28	課題：要約練習		
29	第1部 聴解テスト セクション3 総合聴解問題 25番	内容把握	ベトナム語訳
30	復習		
31	後期定期試験FB		
32	まとめ		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	『BJTビジネス日本語能力テスト 聴解・聴読解 実力養成問題集 第2版』（スリーエーネットワーク）		

科目名	通訳講座	国際科	2年通年
講師	上野 綾子	講義	金曜 5限
実務経験のある教員等による指導		4単位 64時間	全30回
科目概要	1年次で築いた土台の上に基本的な練習を続けながら、通訳者にとって大切なメモ取りの練習や言い換え練習などより高度な練習を行う。さらに、実際に逐次通訳から通訳の練習などを取り入れていく。		
到達目標	1年次で身に付けたスキルをもとに、実際に通訳ができるようになることを目標とする。		
授業計画			
1	実戦練習 (インターンシップ)		
2	実戦練習 (インターンシップ)		
3	実戦練習 (インターンシップ)		
4	実戦練習 (インターンシップ)		
5	実戦練習 (インターンシップ)		
6	実戦練習 (インターンシップ)		
7	実戦練習 (インターンシップ)		
8	実戦練習 (インターンシップ)		
9	実戦練習 (インターンシップ)		
10	実戦練習 (インターンシップ)		
11	実戦練習 (インターンシップ)		
12	実戦練習 (インターンシップ)		
13	実戦練習 (インターンシップ)		
14	実戦練習 (インターンシップ)		
15	実戦練習 (インターンシップ)		
16	実戦練習 (インターンシップ)		
17	実戦練習 (インターンシップ)		
18	実戦練習 (インターンシップ)		
19	実戦練習 (インターンシップ)		
20	実戦練習 (インターンシップ)		
21	実戦練習 (インターンシップ)		
22	実戦練習 (インターンシップ)		
23	実戦練習 (インターンシップ)		
24	実戦練習 (インターンシップ)		
25	実戦練習 (インターンシップ)		
26	実戦練習 (インターンシップ)		
27	実戦練習 (インターンシップ)		
28	実戦練習 (インターンシップ)		
29	実戦練習 (インターンシップ)		
30	実戦練習 (インターンシップ)		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	—		

科目名	通訳講座	国際科	2年通年
講師	上野 綾子	講義	金曜6限
実務経験のある教員等による指導		4単位 64時間	全30回
科目概要	1年次で築いた土台の上に基本的な練習を続けながら、通訳者にとって大切なメモ取りの練習や言い換え練習などより高度な練習を行う。さらに、実際に逐次通訳から通訳の練習などを取り入れていく。		
到達目標	1年次で身に付けたスキルをもとに、実際に通訳ができるようになることを目標とする。		
授業計画			
1	実戦練習 (インターンシップ)		
2	実戦練習 (インターンシップ)		
3	実戦練習 (インターンシップ)		
4	実戦練習 (インターンシップ)		
5	実戦練習 (インターンシップ)		
6	実戦練習 (インターンシップ)		
7	実戦練習 (インターンシップ)		
8	実戦練習 (インターンシップ)		
9	実戦練習 (インターンシップ)		
10	実戦練習 (インターンシップ)		
11	実戦練習 (インターンシップ)		
12	実戦練習 (インターンシップ)		
13	実戦練習 (インターンシップ)		
14	実戦練習 (インターンシップ)		
15	実戦練習 (インターンシップ)		
16	実戦練習 (インターンシップ)		
17	実戦練習 (インターンシップ)		
18	実戦練習 (インターンシップ)		
19	実戦練習 (インターンシップ)		
20	実戦練習 (インターンシップ)		
21	実戦練習 (インターンシップ)		
22	実戦練習 (インターンシップ)		
23	実戦練習 (インターンシップ)		
24	実戦練習 (インターンシップ)		
25	実戦練習 (インターンシップ)		
26	実戦練習 (インターンシップ)		
27	実戦練習 (インターンシップ)		
28	実戦練習 (インターンシップ)		
29	実戦練習 (インターンシップ)		
30	実戦練習 (インターンシップ)		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	—		

科目名	翻訳の日本語	国際科	2年通年
講師	淵上 詩帆	講義	月曜3限
実務経験のある教員等による指導		4単位 72時間	全28回
科目概要	さまざまなパラフレーズを学び、1年時の『通訳入門』で学んだ翻訳技術のさらなる向上を目指す。		
到達目標	アカデミック・ライティングに必要な日本語表現が適切に使えるようになることを目標とする。		
授業計画			
1	第Ⅰ部 第1課	ステップ1	
2	第Ⅰ部 第2課	ステップ1	
3	第Ⅰ部 第3課	ステップ1	
4	第Ⅰ部 第4課	ステップ1	
5	第Ⅱ部 第1課	ステップ1	
6	第Ⅱ部 第2課	ステップ1	
7	第Ⅱ部 第3課	ステップ1	
8	第Ⅱ部 第4課	ステップ1	
9	第Ⅰ部 第1課	ステップ2	
10	第Ⅰ部 第2課	ステップ2	
11	第Ⅱ部 第3課	ステップ2	
12	復習		
13	前期定期試験FB		
14	インターンシップ (課題)		
15	第Ⅰ部 第4課	ステップ2	
16	第Ⅱ部 第1課	ステップ2	
17	第Ⅱ部 第2課	ステップ2	
18	第Ⅱ部 第3課	ステップ2	
19	第Ⅱ部 第4課	ステップ2	
20	第Ⅰ部 第1課	ステップ3	
21	インターンシップ (課題)		
22	インターンシップ (課題)		
23	第Ⅰ部 第2課	ステップ3	
24	第Ⅰ部 第3課	ステップ3	
25	復習		
26	後期定期試験FB		
27	記事で実践してみよう		
28	記事で実践してみよう		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	『アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習』（株式会社スリーエーネットワーク）		

科目名	翻訳の日本語	国際科	2年通年
講師	Tran Ngoc Trinh	講義	木曜5限
実務経験のある教員等による指導		4単位 72時間	全31回
科目概要	1年次に「通訳入門」の際に取り入れた翻訳の技術のさらなる向上を目指す。実際の社内メールやお知らせなどの短い分の訳から初め、最終的には、報告書や提案書などのビジネス文書翻訳を行い、実践力を養成する。		
到達目標	1年次に学んだ翻訳技術のさらなる向上を目標とする		
授業計画			
1	A. 社内一斉メール 問題1 読解 メール書く練習 ベトナム語訳		
2	A. 社内一斉メール 問題2 読解 メール書く練習 ベトナム語訳		
3	B. 会議準備 問題3 聴読解 ベトナム語訳		
4	B. 会議準備 問題4 聴解 ベトナム語訳		
5	C. 電話とお詫び 問題6 聴読解 会話練習 ベトナム語訳		
6	C. 電話とお詫び 問題7 読解 会話練習 ベトナム語訳		
7	D. お知らせ文書 問題8 読解 書く練習 ベトナム語訳		
8	D. お知らせ文書 問題9 読解 書く練習 ベトナム語訳		
9	F. 同僚との雑談 問題14 聴読解 ベトナム語訳		
10	G. 値下げ交渉 問題15 聴解 ベトナム語訳		
11	H. 営業 問題18 聴解 ベトナム語訳		
12	J. 個人情報 問題27 読解 ベトナム語訳		
13	復習		
14	前期定期試験FB		
15	課題：D. お知らせ文書 問題10 読解 書く練習 ベトナム語訳		
16	課題：L. 出張 問題33 読解 ベトナム語訳		
17	課題 FB		
18	L. 出張 問題31 聴読解 ベトナム語訳		
19	L. 出張 問題32 聴解 ベトナム語訳		
20	O. インタビュー 問題41 読解 ベトナム語訳		
21	O. インタビュー 問題42 聴解 ベトナム語訳		
22	P. 日程調整 問題43 聴解 ベトナム語訳		
23	R. 展示会 問題48 聴読解 ベトナム語訳		
24	S. 業務フローチャート 問題49 聴読解 ベトナム語訳		
25	課題：M. 販売員増員の提案 問題35 読解 ベトナム語訳		
26	課題：P. 日程調整 問題44 読解 ベトナム語訳		
27	課題：R. 展示会 問題47 読解 ベトナム語訳		
28	課題 FB		
29	復習		
30	後期定期試験FB		
31	まとめ		
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S:90-100 A:80-89 B:70-79 C:60-69 D:59点以下</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>		
教科書名	『ビジネス日本語オール・イン・ワン問題集 聴く・読む・話す・書く』		